

## 令和6年度 窯業技術研究所事業報告

### 1 研究会とセミナーの開催（教育経費）

- ・ものづくり研究会 別紙資料①

#### 「3Dシステムを活用した商品開発」

市内企業2社を訪問し、3Dシステムを活用した形状デザインを提案、試作した。試作品は新春見本市で展示を行った。

愛知県立芸術大学 陶磁専攻の学生ら7名が参加

- ・陶磁器セミナー

#### 「みずなみの歴史と陶磁器」 11月～12月（4回）受講者7名

講師：手島 敦（岐阜県立多治見工業高等学校 教諭）

瑞浪市の陶磁器の歴史について戦時中の陶磁器生産や、復興後の輸送手段や加飾技術の変遷について学んだ。

### 2 新分野開拓事業

- ・更新した3Dシステムを活用しCAD講座を開催した。 別紙資料②

初級コース 11月～12月（4回）受講者3社

中級コース 3月（4回）受講者3社

### 3 伝統技術伝承事業

- ・技術講座の開催 別紙資料②

染付け講座 5月～6月（7回）受講者7名 講師：作道 裕明

骨描き、ダミの技法を学び、オリジナルデザインの蚊取りブタを制作。

土人形講座 7月～8月（3回）受講者6名 講師：おひなの会

瑞浪土人形（岐阜県郷土工芸品）の市に寄贈された型を元に一連の制作工程を学んだ。制作した土人形は、11/9の国民文化祭のイベントで展示を行った。

石膏講座 2月（4回）受講者6名 講師：加藤伸寛（達弘製型所）

石膏ロクロを使った削り、変形モノの手おこし型を制作した。

#### 4 食器デザイン展開催事業

- ・第29回 瑞浪市児童・生徒食器デザイン展を開催

別紙資料③

応募総数 1,970 点（小学校 1,593 点、中学校 377 点）

137 点のお皿と原画を展示し表彰式を開催 11/9・10（みずなみ陶器まつり）

「市制70周年記念賞」を設け7点を選出

特賞7点を市のホームページに掲載

- ・市長賞のデザインを給食食器に採用

#### 5 依頼試験・試作業務

- ・依頼試験（粒度分析、鉛・カドミウム溶出試験、スポーリング試験）

814点（市内732点・市外82点） 手数料 約108万円

- ・依頼試作（模型原型試作、意匠試作、CAD・CAM試作）

128点（市内60点・市外68点） 手数料 約187万円

#### 6 学校教育の授業、地域活動等の支援

- ・瑞浪小学校3年生施設見学 6/27 127名

- ・土岐小学校3年生施設見学 10/23 52名

陶磁器製品の品質検査や3次元CADによる商品開発などの業務についての説明と招きネコの絵付け体験を行った。域学連携事業により高校生による「不思議なやきもの」の実演説明を行った。

- ・瑞浪中1年生の絵付け体験 7/5 120名

- ・瑞浪高校3年生「伝統文化学習」ロクロ成形実習 5/31 6名

- ・日吉公民館の陶芸作品制作支援

- ・市民を対象に出前講座を開催「食器ってリサイクルできるの？」 2件

- ・埼玉県朝霞市、丸沼芸術の森との連携催事

「障がい者陶芸・美術体験教室」の上絵転写作品の制作協力

#### 7 試験機関及び各協議会等との連携

- ・東濃四試験研究機関協議会

会議 2/14、成果発表会 2/28（主催：名古屋工業大学、共催：四試協議会）

- ・岐阜県陶磁器デザイン協議会

理事会・定期総会 6/25、デザイン研修会 10/17・18（京都清水焼）

- ・グリーンライフ21プロジェクト 定例会

- ・産業技術連携推進会議セラミック分科会

デザイン担当者会議 10/23・24 滋賀県工業技術総合センター

- ・全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議